

令和元年11月22日	
資料提供	
担当課	秘書課
担当者	福原・奥田
電話(直通)	073-441-2026

和歌山県人会世界大会への工芸品寄贈について

沖縄県では、海外の県人会に集まってもらって、県人会大会が開催されております。

本県ではこれにならい、既にお知らせしたところですが、和歌山県人会世界大会を開催することになりました。

このたび、沖縄県の方から和歌山県人会世界大会の開催を記念して、琉球ガラスの工芸品を寄贈頂きました。県としては多くの方々にご覧頂けますよう、県人会世界大会の会場において下記のとおり展示いたします。

記

◆寄贈者：医療法人 陽心会 理事長 高良 健（たから けん）

沖縄県那覇市字大道127番地

◆制作者：沖縄県工芸士 友利 龍（ともしり りゅう）

◆展示日：令和元年11月24日（日）（受付開始後15:00～閉会18:00頃まで）

◆場 所：和歌山県民文化会館 県人会世界大会会場受付付近



「八咫鳥^{やたがらす}をイメージして作られた琉球ガラス」

※琉球ガラス

明治時代に長崎や大阪のガラス職人によって伝えられた‘宙吹き法’と‘型吹き法’というガラス成形の技法を使って、4～5人のグループで制作するガラスのこと。

第二次世界大戦以降、米軍人の本国への土産品として需要が増加していき、「沖縄海洋博覧会」を機とする沖縄観光市場拡大とともに琉球ガラスとして確立されてきました。